

# 「神奈川県人口ビジョン 改訂（素案）」及び「第2期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」に関する提出意見及びこれに対する県の考え方

## 1 意見募集期間

令和元年12月16日（月曜日）から令和2年1月15日（水曜日）

## 2 意見募集結果

(1) 意見件数 65件（42人）

(2) 意見区分

区 分	延べ件数
人口ビジョン	13件
基本目標1 経済のエンジンを回して魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける神奈川を創る	9件
基本目標2 国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる	9件
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	12件
基本目標4 活力と魅力あふれるまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める	13件
その他（質問・感想等）	9件
合 計	65件

(3) 意見の反映状況

区 分	延べ件数
1 反映した意見	38件
2 総合戦略等に記載はないが、既に取り組んでいる施策等に関する意見	9件
3 今後の施策展開の参考とする意見	12件
4 反映できない意見	0件
5 その他（質問・感想等）	6件
合 計	65件

注 ○ ご意見等の内容について対応した局名を「関連局」欄に記載しています。  
○ 意見要旨については、原則として頂いた文言を記載していますが、一部字句の変更、表現の調整、表現の割愛等を行っているものがあります。

### 【問合せ先】

ご意見の反映状況や施策・事業の内容について、より詳しくお知りになりたい場合は、次の窓口までお問い合わせください。

神奈川県 政策局 自治振興部 地域政策課 地方創生グループ

電話 045-210-3275

FAX 045-210-8837

意見番号	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
1	基本目標3	現行の社会現象を見るにつけ、貧困と差別の社会構造を解消することが課題であり、貴施策の重大ビジョンのひとつに掲げられる必要があるのではないのでしょうか。（個人的な努力だけではどうにも解消・克服できない社会的背景を持つ課題だからです。）	2	「総合戦略」は人口減少社会や超高齢社会への対応という観点から取組みを進めているため、貧困と差別に関しては重要ビジョンの一つに位置付けていませんが、県としては、貧困対策や差別解消のために、指針や計画等を定め、取組みを進めています。	政策局 福祉子どもみらい局
2 (同一意見 2件)	基本目標3	若い男女が交際・接触する仕組みづくりを推進すべきです。県が直接手出しをするのが難しいのであれば、それを行う団体に支援・補助をください。	1	結婚に向けた機運の醸成については、「総合戦略」の「基本目標3・（1）結婚から育児までの切れ目ない支援」に位置付け、結婚支援情報総合ウェブサイト「恋カナ！サイト」において、市町村や企業・団体等が実施する出会いの機会等の情報提供に取り組んでいきます。	福祉子どもみらい局
3	基本目標3	結婚をする際の経済的負担となる住居費をなんらかの形で援助することで、結婚を促進することになると思います。	2	結婚をする際の経済的負担となる住居費に係る援助については、「総合戦略」には記載していませんが、現在取組中の結婚支援情報総合ウェブサイト「恋カナ！サイト」において、国の地域少子化対策重点推進交付金の活用に取り組んでいる自治体を紹介するなど情報提供をしています。また、新たな住宅セーフティネット制度の取組みの今後の参考とします。	福祉子どもみらい局 県土整備局
4	基本目標1	65歳以上の高齢者の大多数は健康であるため、一つの例として、定年を引上げたり、定年制度を廃止したりすることを勧奨する制度などを作ったらどうでしょうか。	1	65歳以上の意欲のある方も働けるよう取組みを推進するという観点から、高齢者の就業支援については、「総合戦略」の「基本目標1・（3）就業の促進と人材育成」に位置付けて取り組んでいきます。	産業労働局
5	基本目標3	子育てに関して、お母さんOG群を保育の場に役立てることを考えるべきです。	1	育児経験が豊富な方に、地域の子育て支援に参画していただくことについては、「総合戦略」の「基本目標3・（1）結婚から育児までの切れ目ない支援」に位置付けて取り組んでいきます。なお、平成27年度に育児経験豊かな方等が子育て支援の担い手となる「子育て支援員」制度が創設されたことを受け、県では平成28年度から「子育て支援員」の認定に必要な研修を実施し、子育て支援員を養成しています。	福祉子どもみらい局

意見番号	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
6 (同一意見 1件)	基本目標3	現在、認可外保育所に娘を預けていますが、保育所の充実、時間外のサポートがないと、2人目、3人目は考えられません。	1	保育所の充実等については、「総合戦略」の「基本目標3・(1)結婚から育児までの切れ目ない支援」に位置付けて取り組んでいきます。 なお、県では、これまで市町村と連携した保育所等の整備により、待機児童が4,117人とピークであった平成22年から67,912人の定員拡大を行い、保育の受け皿の確保を図ってまいりました。 また、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和元年10月からは保育の無償化を実施しています。	福祉子どもみらい局
7	基本目標4	横浜市西区に在住し続けたいと思っている中、横浜市が高齢者パスを見直していると聞いていますが、続けてほしいです。	3	横浜市の敬老パスについては、横浜市が独自に実施しているものであり、県として対応することはできませんが、ご意見につきましては横浜市にお伝えします。	福祉子どもみらい局
8	その他 (質問・感想等)	行政は必要であるが、社会の変化に合わせて少しずつ制度を変えていく必要があると思います。	3	いただいたご意見については、今後の地方創生の推進の参考とします。なお、総合戦略の評価・改善にあたり、社会環境の変化等も踏まえながら、施策・取組みの見直しを図っていきます。	政策局
9	その他 (質問・感想等)	フードロスが話題となっていますが、税金も無駄遣いをなくしていくことが必要です。	5	ご意見のとおり、限られた財源を適正かつ有効に活用してまいります。	政策局
10	基本目標1	過労死寸前で働いている状況を脱するため、職場環境の改善が必要です。	1	労働環境の整備については、「総合戦略」の「基本目標1・(3)就業の促進と人材育成」に位置付けて取り組んでいきます。	産業労働局
11	基本目標1	AIにより一部の優秀な人しか働けなくなることを危惧しています。	2	「総合戦略」には記載していませんが、県内の経済団体に対し、働く意欲のあるすべての人が生き生きと働くことができるよう、雇用機会の確保などについて要請を実施しています。	産業労働局
12	基本目標2	三浦半島で暮らしてもらうために、広い土地を活かし、富裕層向けの住宅を整備したらどうでしょうか。	3	三浦半島地域における富裕層向け住宅の整備については、三浦半島魅力最大化プロジェクトの今後の施策展開の参考とします。	政策局
13	基本目標1	清掃の仕事をしているが、日本独特の雰囲気や細かい決まりの多い日本的システムに慣れることができない外国人が身の回りにいます。こうした点を改善していくことが必要だと思います。	3	いただいたご意見については、労働環境の整備の取組みの参考とします。	産業労働局
14	基本目標3	人口の自然増に関しては、根本的に女性の働き方を考えないと、難しいのではないかと思います。	1	女性が働き続けやすい環境づくりを進めるとともに、誰もが希望に応じた多様な働き方ができるよう働き方改革を進めるという観点から、「総合戦略」の「基本目標3・(2)女性の活躍支援と男女共同参画の推進及び(3)働き方の改革」に位置付けて取り組んでいきます。	福祉子どもみらい局 産業労働局

意見番号	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
15	基本目標 2	なぜ、地域活性化は三浦半島と県西部だけなのでしょう。どこの地域も人口減少に向かうはずなので、県全体エリアで取組む必要があるかと思えます。	1	ご意見のとおり、県全体でもまもなく人口減少に転じることが見込まれているため、「総合戦略」の「基本目標 2・(2) 地域資源を活用した魅力づくり」及び「基本目標 2・(3) 移住・定住の促進」に位置付けて、県全体で地域活性化に取り組んでいきます。そうした中で、三浦半島地域と県西地域は、既に人口減少が始まっていることから、個別プロジェクトを策定して、重点的に地域活性化に取り組んでいきます。	政策局
16	人口ビジョン	人口問題に関して、神奈川県は他の都道府県より比較的まともなはずで、ビジョンを作ってまで真剣に取り組まなくてもよいのではないのでしょうか。	5	神奈川県は全国屈指のスピードで高齢化が進むとともに、三浦半島地域や県西地域をはじめとして既に人口減少が進んでいる地域があるため、ビジョンを定めて地方創生に取り組んでいきます。	政策局
17 (同一意見 1件)	基本目標 4	ラグビーワールドカップがこれほど盛り上がったのに、それを活用していく視点が足りないと思います。スポーツによるまちづくりやレガシーづくりに積極的に取り組んでいただきたいです。	1	大規模なスポーツイベントの盛り上げ、レガシーの創出・継承については、「総合戦略」の「基本目標 4・(1) 健康長寿のまちづくり」に位置付けて取り組んでいきます。	スポーツ局
18	基本目標 2	人をひきつける手段として文化・芸術はあるのに、なぜスポーツがないのでしょうか。神奈川県はスポーツが盛んで、もっと人口の流入に活用すべきだと思います。	3	スポーツを活用した人をひきつけるまちづくりについては、今後の施策展開の参考とします。	スポーツ局
19	基本目標 1	中小企業支援について、一般的でごく普通の取組みが多い印象があります。	3	いただいたご意見については、今後の取組みの参考とします。 なお、県は、企業経営も人の体と同じく「健全経営」と「経営不振」の間を連続的に変化していると捉え（企業経営の未病）、現状から少しでも経営改善が図られるよう、中小企業・小規模企業を支援しています。 こうした本県独自の取組み（企業経営の未病改善の推進）を総合戦略にも位置付け、積極的にPRしていきます。	産業労働局
20	基本目標 1	もう少し、中高生の人材育成に力をいれるべきであると思います（特に英語）。	2	中学生の人材育成については、より質の高い授業をめざして、国の研修を受講した教員を講師とした県域の全ての英語科教員に対する研修や、各地区における教育課程説明会などを通じて、効果的な指導法等を共有するなど、教員の指導力の向上を図っています。 また、高校生の人材育成については、生徒の英語力向上をめざして、英語資格・検定試験の活用促進、国際交流の促進、外国語指導助手の全校配置、グローバル教育研究推進校におけるグローバル化に対応した先進的な教育の推進などに取り組んでいます。 こうした取組みにより、生徒の英語によるコミュニケーション能力を高めるとともに、国際的な視野を持ち、多様な価値観を受容できる人材の育成に取り組んでいます。	教育局

意見番号	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
21	基本目標 3	出産できる病院をもっと整えてほしいです。	3	出産できる体制の整備については、分娩を行う人材の確保や出産に係る救急医療体制の確保に努めているところであり、ご意見については周産期医療の充実に関する今後の施策展開の参考とします。	健康医療局
22 (同一意見 1件)	基本目標 4	未病に力を入れているのは理解できますが、まだまだ県民に浸透していないと思われま。	3	未病改善の取組みについては、県内各地域で普及啓発を行っています。引き続きより多くの県民の皆様にご理解いただき実践いただけるよう取り組んでいきます。	政策局 健康医療局
23	基本目標 4	子供たちへの未病対策について、子供たちが未病を理解しやすい方法で進めてください。	2	子どものころから未病を改善する基礎づくりの取組みの一環として、子どもの体力・運動能力の向上や運動習慣の確立、生活習慣の改善をめざす様々な事業を「子ども☆キラキラプロジェクト」として展開しています。また、県立高校では、「健康・未病学習教材」を用いるなど、教科の授業をはじめとした教育活動の様々な場面において、生徒の未病の理解を進めています。県立特別支援学校においても、一人ひとりの児童・生徒の障がいの状態を踏まえて、生涯にわたる健康と未病を改善する基礎づくりとして、体力向上や運動に親しむことができるよう系統的な指導を行うとともに、望ましい食習慣を培うため、食育の推進に取り組んでいます。今後も子どもたちが未病を理解できるよう、子ども向けのわかりやすいリーフレットの作成・配布や、幼稚園等での親しみやすいキャラクターの活用など、工夫しながら子どもの未病対策を実施していきます。	健康医療局 教育局
24	基本目標 4	障がい者への理解促進は重要と思います。	1	障がい者への理解促進については、「総合戦略」の「基本目標 4・(2)誰もが活躍できる地域社会の実現」に位置付けて取り組んでいきます。また、「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発を通じて、引き続き、障がい及び障がい児・者に対する理解促進を図っていきます。	福祉子どもみらい局
25	基本目標 1	知事が最初に注力していたエネルギー問題は、主要施策からは外れてしまったのでしょうか。	2	県の政策の全体像を総合的・包括的に示す「主要施策」などをまとめたものには、「かながわグランドデザイン第3期実施計画」(以下「グランドデザイン」という)があり、その主要施策として、エネルギーの分野は「プロジェクト 5」に位置付けています。今回の「総合戦略」は、グランドデザインから人口減少社会や超高齢社会への対応という観点に合致する施策を抽出したものであり、エネルギー分野については、「エネルギー関連産業の振興」という小柱で「基本目標 1」に位置付けています。	産業労働局

意見番号	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
26	基本目標 2	県内観光について、箱根や鎌倉など外国人が立ち寄っている感じがするの で、もっと他の地域に呼び込むことが必要ではないでしょうか。	1	外国人の周遊については、「総合戦略」の「基本目標 2・ (1) 観光の振興」に位置付けて取り組んでいきます。	国際文化観光局
27	その他 (質問・感想等)	神奈川県で地方創生という取り組みは必要なのでしょうか。	5	神奈川県でも、既に人口減少が始まっている地域があり、 県全体でもまもなく減少に転じる見込みで、また、全国屈 指のスピードで高齢化が進んでいます。そこで、「合計特 殊出生率」の向上、「マグネット力」の向上及び「未病」 の取り組みによる健康長寿社会の実現を3つのビジョンとし て掲げ、地方創生に取り組んでいきます。	政策局
28	基本目標 1	ロボットの活用は賛成です。もう少し、実用化案件を紹介してください。	2	ロボットの実用化案件については、県ホームページ、さが みロボット産業特区ホームページで紹介しています。	産業労働局
29	基本目標 4	ボランティア（特にプロボノ）の活用を推進すべきと思います。	2	ボランティア（特にプロボノ）の活用の推進については、 総合戦略には記載していませんが、「かながわボランタ リー活動推進基金21」（平成13年度設置）を活用した事業 等により取り組んでいます。	政策局
30	その他 (質問・感想等)	人口問題に関して、こういった取り組みを進めるのは大事だと思います。	5	神奈川をとりまく状況を踏まえ、人口減少と超高齢社会を 力強く乗り越えていく地方創生の取り組みを進めていきま す。	政策局
31 (同一意見 1件)	基本目標 4	高齢者が生きがいを持って活躍できる社会を目指してください。	1	高齢者が活躍できる社会づくりについては、「総合戦略」 の基本目標 4・(1) 健康長寿のまちづくり」に位置付け て取り組んでいきます。	福祉子どもみらい局
32	人口ビジョン	神奈川県は人口問題に関しては恵まれていると思います。全国的な人口の 奪い合いはあまり好ましくないとします。	5	神奈川県も東京都に対して大幅な転出超過となっているこ とから、その抑制を図るとともに、既に人口減少が始まっ ている三浦半島地域や県西地域などにおける移住・定住の 促進に取り組んでいきます。	政策局
33	基本目標 4	小学生以下の体力が落ちているので、小学生以下の年齢で遊び、スポーツ を活発に行うことが必要と思います。	1	乳幼児から高齢者までのライフステージに応じたスポーツ 活動の推進については、「総合戦略」の「基本目標 4・ (1) 健康長寿のまちづくり」に位置付けて取り組んでい きます。	スポーツ局
34	その他 (質問・感想等)	こういう戦略を作っていること自体知りませんでした。人口問題は確かに 他人ごとではありませんが、神奈川県内で危機感を抱いている人は少ない のではないのでしょうか。	5	2014年5月の日本創成会議の発表レポートにおいて、県内 9市町村が「消滅可能性都市」とされるなど、人口減少へ の関心が高まったこともあり、県及び県内の全市町村で総 合戦略を策定し、人口減少対策に関する取り組みを進めてい ます。	政策局
35	人口ビジョン	「地域らしさ」という概念が漠然として分かりません。三浦半島や県西地 域では、狭いエリアで地域特性が異なります。地域らしさに徹底的にこだ わる、とはどのようなことなのか、具体的に示してあるとよいと思いま した。	3	神奈川には多様な「地域らしさ」がありますので、それぞ れの魅力を生かした個性的なライフスタイルの発信に取 組んでいます。ご意見については、今後の施策展開の参考 とします。	政策局

意見番号	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
36	人口ビジョン	自然が豊か、歴史・文化で有名、などの情報が断片的にわかっていても、地域らしさの理解にはつながらないのではないのでしょうか。地域のセールスポイントをわかりやすく発信する努力とお試し暮らし体験、ショートステイの機会を創出する工夫が必要と思います。	3	ご意見のとおり、神奈川には多様な「地域らしさ」がありますので、それぞれの魅力を生かした個性的なライフスタイルの発信に取り組んでいます。お試し暮らし体験等については、移住・定住の促進に向け、市町村の取組みを広域的な観点で支援する立場で取り組んでいきます。	政策局
37	人口ビジョン	「東京に転出する人を抑制する」だけでなく、「東京に転出した人が戻ってくる」施策も具体的に検討することが必要ではないのでしょうか。具体的に、医療・教育・介護など社会保障費の手当てや補助策等を充実させ、そのメリットを積極的に発信することが必要ではないかと思ひます。	1	人口ビジョンの「ビジョン2」においてマグネット力の向上（社会増に向けた対策）を掲げています。医療・教育・介護の充実については「総合戦略」の「基本目標3・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」と「基本目標4・活力と魅力あふれるまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局 福祉子どもみらい局 健康医療局 教育局
38	人口ビジョン	都会と田舎の良さのバランスを追求する上でも、交通インフラの充実度は、定住の地域選択において重要要素になります。買い物や通学、病院などの移動で不自由なことをPRしたり、インフラを充実させたりする工夫が必要ではないのでしょうか。	1	交通インフラの充実については、「総合戦略」の「基本目標4・（3）持続可能な魅力あるまちづくり」に位置付けて取り組んでいきます。また、この取組みの中で、道路の開通情報や効果をPRしていきます。	政策局 県土整備局
39	人口ビジョン	都会と田舎のバランスを追求するあまり、地域のよさを打ち消さないような工夫が必要で、そもそも、田舎指向の人は、ライフスタイルについて都会暮らし指向の人と価値観が異なるのではないかと思ひます。それならば、田舎のよさを前端的にPRすることが重要なのではないのでしょうか。	1	「ちょっと田舎・かながわ」として、田舎のよさのPRなど地域の魅力を生かした個性的なライフスタイルの発信については、「総合戦略」の「基本目標2・（3）移住・定住の促進」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局
40	人口ビジョン	実際に住んでいる人とのつながりは、まちのよさの一つ。移住・定住することで、どのようなつながりが生まれるのか、積極的にPRすることが重要だと思ひます。	1	地域の魅力を生かした個性的なライフスタイルの発信については、「総合戦略」の「基本目標2・（3）移住・定住の促進」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局
41	人口ビジョン	移住・定住に関する現状のPRの方法に改善の余地があります。若い世代の目線で、若い人の目に留まるような発信手段の工夫がさらに必要だと思ひます。	1	若い世代へのPRについては、「総合戦略」の「基本目標2・（3）移住・定住の促進」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局
42	基本目標2	地域でのかかわりを求める人、かかわりに価値を見出し共感してもらえるような人に、地域の魅力をアピールすることが重要だと思ひます。（都会志向の人は、そもそもかかわりを面倒と思うので、関係人口創出につながらないのではないかと）	1	地域でのかかわりを求める人へのアピールについては、「総合戦略」の「基本目標2・（3）移住・定住の促進」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局
43	基本目標2	地域外の人々を積極的に受け入れるような施策・工夫・PRをする必要があります。（定住において、地域外の人々が排除されないような地域性があることがわかるようにするべきです。）	1	地域に住む人々だけでなく、地域に必ずしも居住していない地域外の人々を積極的に受け入れる施策については、地域との多様な交流機会の創出を「総合戦略」の「基本目標2・（3）移住・定住の促進」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局

意見番号	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
44	基本目標2	人を引き付けるためには、地域の地場産品の情報発信が足りないと思います。良いものがあっても、知らないことが多いと思われます。	1	産品の情報発信については、「総合戦略」の「基本目標2・(1)観光の振興」に位置付けて取り組んでいきます。 また、県は、伝統的工芸品の産地組合などが行う新商品開発や需要開拓などを支援しており、こうした取組みは「総合戦略」の「基本目標2・(2)地域資源を活用した魅力づくり」に位置付けて、地域の地場産品である伝統的工芸品を積極的にPRしていきます。	国際文化観光局 産業労働局
45	基本目標2	観光振興においても、環境や社会に配慮した倫理的（エシカル）な消費を積極的に推奨すべきです。	1	観光振興における環境や社会に配慮した取組みについては、「総合戦略」の「基本目標2・(1)観光の振興」に位置付けて取り組んでいきます。	国際文化観光局
46	その他 (質問・感想等)	実際に作業を進める場合に県は何をやるのかが見えてきません。何となく何かをしているような便利な言葉が氾濫しているように見えます。	1	案の段階では、総合戦略全体の考え方、総合戦略を構成する柱立て、取組みを評価する際の指標となるKPI等をお示ししました。2019年度中の策定に向け、基本目標を構成する小柱ごとに具体的な取組内容などを記載するとともに、KPIの目標値を設定するなど、県民のみなさまにとって分かりやすくなるよう対応を図りました。	政策局
47	人口ビジョン	似たような状況に置かれている他県の対策との比較をされているのでしょうか。既に他県で行われた実績があれば比較検討することが必要ではないのでしょうか。	1	人口ビジョンと総合戦略の策定にあたり、国や他県との比較検討を行っています。今後も他県の状況も踏まえながら、神奈川らしい地方創生の取組みを進めていきます。	政策局
48	人口ビジョン	人口動向分析の「雇用・就労分析」の中に「通勤時間に関する状況」、将来人口分析に「平均寿命と健康寿命」の項目を追加したことは良いことですが、特に通勤時間の改善に関しては地域に働く場所がないとなかなか改善しません。	1	地域の働く場所の創出については、「総合戦略」の「基本目標1・経済のエンジンを回して魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける神奈川を創る」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局 産業労働局
49	人口ビジョン	合計特殊出生率を2.07にするというのは簡単な事ではないと思います。基礎自治体とも連携し、具体的に何をやるか提示することが必要だと思います。	1	出生率の向上については、息の長い取組みが必要になりますが、「総合戦略」の「基本目標3・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に位置付けた施策を、市町村と連携して取り組んでいきます。	政策局 福祉子どもみらい局 産業労働局
50	人口ビジョン	ビジョン2「マグネット力」の向上に関して、他県に比べ神奈川の優越性は何処にあるのか、具体的に何なのか、何をやるか、を明確にする必要があると考えます。	1	マグネット力向上の具体的な取組みについては、「総合戦略」の「基本目標2・国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局



意見番号	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
51	その他 (質問・感想等)	評価指標が示されていますが、指標がどの項目について評価しているのか、逆にこの項目はこの指標で評価される、ということを示してください。	1	基本目標を構成する小柱に「主な取組み」を位置づけ、「主な取組み」の進捗状況や成果を検証するため、KPIの達成状況をひとつの指標としています。ご意見をいただきました「主な取組み」とそれに関連するKPIの対応関係については、より分かりやすい名称に見直すなどして、関係が明らかとなるよう対応を図りました。	政策局
52	基本目標 1	未病産業の創出・育成など言葉が並んでいますが、具体性がないと言葉遊びになってしまう恐れがあります。	1	未病産業の創出・育成に関する具体的内容については、「総合戦略」の「基本目標 1・(1) 成長産業の創出・育成、産業の集積・①未病産業、最先端医療関連産業の創出・育成」に記載しました。	政策局
53	基本目標 2	地域の魅力を生かした移住の促進に関して、横須賀をはじめ三浦半島の各基礎自治体がいろいろ取り組んでいますが、一向に進展がなく、居住者は逆に減少しています。「魅力を高める取組みの推進」とありますが、もっと基礎自治体と詰めて具体的な対策を講ずる必要があると考えます。	1	三浦半島内の自治体と連携した地域の魅力を高める取組みについては、「総合戦略」の「基本目標 2・(2) 地域資源を活用した魅力づくり」に位置付けた「三浦半島魅力最大化プロジェクト」の推進において、地元自治体と連携して、「半島で暮らす」魅力を高める取組みを進めていきます。	政策局
54	基本目標 3	保育環境の整備や保育人材の確保といった項目が並びますが、具体的に基礎自治体とどのような施策で連携するのでしょうか。	1	保育所の整備や保育人材の確保に係る基礎自治体との連携については、「総合戦略」の「基本目標 3・(1) 結婚から育児までの切れ目ない支援」に位置付けて取り組んでいきます。 なお、保育所の整備については、市町村に対して補助金による支援を行っており、また、保育人材の確保については、市町村が行う保育士の給与改善、負担軽減等に対して補助を行っています。 さらに、県内の全市町村が参加する保育対策協議会における各市町村からの意見を踏まえ施策を進めています。	福祉子どもみらい局
55	基本目標 3	働き方改革という掛け声はあげるものの、現実には名ばかりというのも多く、テレワークも企業がシステムを作り実行できるようにするにはかなりの資金が必要で、大企業はともかく中小企業が実行可能となるには、資金的な支援が必要であると思います。	3	テレワーク導入に対する資金的な支援については、国が助成金の制度を設けており、県はその周知を行っています。ご意見は、今後のテレワークの普及啓発の取組みの参考とします。	産業労働局
56	基本目標 4	人口減少社会や超高齢社会が進むと、利便性の低い住宅地を中心に空き家などが顕在化し、全国の自治体が色々対策を立てています。しかし、成功と言われるものは非常に少なく、検討チームを構成して、考え方を根本から考え直すことが必要ではないでしょうか。	1	自治体が直面する空き家に関する対策については、「総合戦略」の「基本目標 4・(3) 持続可能な魅力あるまちづくり」に位置付けて取り組んでいきます。	県土整備局

意見番号	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
57	基本目標 4	SDG s の考え方そのものをもっと分かりやすく県民に示すことを考慮すべきで、その上で県の取組みとの整合性を表明することが大切だと思います。	2	SDG s の考え方を分かりやすく示すことについては、具体的な取組事例を掲載する「中小企業のためのかながわSDG s ガイドブック」や「SDG s アクションブックかながわ」などの活用や、各種イベントにおいてダーツ等を利用した普及啓発等に取り組んでいます。また、本県の地方創生の取組みとSDG s は軌を一にするものと考えています。	政策局
58 (同一意見 1件)	その他 (質問・感想等)	評価で指摘された点を、このように改善したという要約を重要なポイントだけで良いので、示していただきたいと思います。	1	基本目標を構成する小柱ごとの説明の中で、第1期の振り返りを踏まえて、第2期の取組内容を記載しました。また、総合戦略の評価・改善にあたり、社会環境の変化等も踏まえながら、施策・取組みの見直しを図っていきます。	政策局